

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに
 重点的取組 3 都市景観と自然景観が調和した美しいまちをつくる

担当課名	分権政策部 歴史まちなみ推進室		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	02	文化振興費

事業名	伝統的建造物群保存推進事業	事業開始年度	平成 23 年度
	伝統的建造物群保存地区制度導入の推進	根拠法令 条例 個別計画等	文化財保護法

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	1. 文化財を後世に伝えるため 2. 宮島地域(伝統的建造物が連たんしている地域)の市民のため	1. 厳島神社をはじめとする神社・仏閣等と相まって残っている、文化的価値の高い伝統的な町並みを保存し、後世に継承していく。 2. 市民にとっては、この地域に誇りや愛着を抱き、自然や生活環境の保全と再生を図ることができ、コミュニティの活性化を促すことができる。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	宮島地域の市民、学識経験者、委託業者	保存計画・修理修景基準・所有者への助成制度等の検討。条例制定及び保存地区の決定。伝建制度に関する市民との合意形成。

3 平成26年度 決算(活動実績・コスト情報・目標到達度)

実施した事業の内容(活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物群保存地区制度説明会開催 ・ 歴史的まちなみ保存研究員報酬等 報酬 2,049,600 円 共済費 337,644 円 旅費 104,400 円 ・ 保存地区、保存計画等について指導及び協議 報償費 36,000 円 旅費 7,380 円 ・ 建築基準法緩和条例に係る建造物調査 委託料 1,512,000 円 ・ その他保存対策事業 役務費 75,795 円 委託料 194,400 円 計 4,317,219 円 							
	コスト情報(円)	項目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	2,546,324	4,317,219			
			国庫支出金					
			県支出金					
			借入金(市債)					
			その他(使用料など)					
			市(市税など)	2,546,324	4,317,219			
			人件費(按分) B	人	人	/		
			総事業費(A+B)	2,546,324	4,317,219			
ト換算		① 人口(4月1日現在)	117,680 人	117,182 人				
	② 市民1人当たり	22	37					
到達目標	活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
	活動	伝建制度の確立	—		案の作成	案の作成		
		合意形成のための説明会	回		説明会	5回		
	成果	伝建条例制定・保存地区指定	—		条例制定			条例制定
		重伝建の選定	—					H28重伝建